

一流の演奏家から直接アートの魅力を学ぶ！ 今福優学校アウトリーチの開催について

公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）では、年間を通じて島根県石見地域の学校でアウトリーチ事業を行っています。この催しは、地域の児童生徒が一流の舞台芸術に触れ、豊かな感性を育むことをねらいとして、「平成30年度文化庁文化芸術による子供の育成事業」の一環として開催するものです。

2月は、島根県益田市在住にして全国、海外でも上演実績をもつ和太鼓奏者・今福優（いまふく ゆう）率いる今福座を講師とし、日頃劇場に訪れる機会に乏しい地域の子どもたちにも生の舞台芸術を届け、体験活動もできるプログラムを実施します。

つきましては、ご多忙とは存じますが、取材及び報道方よろしくお願いたします。

記

《実施概要》

2月5日（火）島根県立浜田ろう学校音楽室 10:30～12:30

対象：全校児童生徒（幼稚部～高等部）11名

2月7日（木）浜田市立岡見小学校体育館 10:40～12:20（3・4校時）

対象：全校児童42名

《ご注目いただきたい点》

1. 一流のアーティストの生き様に触れる

和太鼓演奏の鑑賞、アーティストの半生などを聞くことで、夢を持ち努力することの大切さを感じることができます。

2. 和太鼓体験を通して「自分の殻を破る勇氣」を身につけるなど、成長のきっかけを得る

体験活動では、全身を使い一人で一つの太鼓を演奏します。大きな声を出すよう求められることもあります。自分と向き合い、挑戦することで、普段とは違う表情を見せることがあります。

3. 日頃劇場に訪れる機会に乏しい地域の子どもたちにも生の舞台芸術を届ける

生の舞台芸術は空気の振動やアーティストの息遣いなど、映像では得ることのできない多くの情報から臨場感が生まれ、一時停止や巻き戻し再生ができないので、一瞬を見逃すまいと子供たちは高い集中力を発揮します。

※過去に実施した学校での様子



《講師プロフィール》

今福優 (いまふく ゆう)



島根県益田市匹見町を拠点として活動している太鼓打ち。24歳の時に田耕(でんたがやす)氏率いる和太鼓グループ『鬼太鼓座』に入座、国内外の公演に参加。4年後に脱退したのち、7年間のサラリーマン生活を経て3尺1寸の大太鼓を含む太鼓一式を購入、ソロ活動を開始する。その大太鼓の打ち込みに定評があるほか、自身のふるさとに伝わる石見神楽を舞台用にアレンジした作品も数多く生み出している。2004年～2008年、東京で開催されてきた『青山太鼓見聞録』に出演。近年ではフランス・オーストリア・カナダ・モロッコなどへの海外遠征も行う。

また、後進への指導にも力を入れており、和太鼓を通じた子供の育成や学校公演も精力的に取り組んでいる。

今福座

今福優・末長愛・堂本英里の3名によるユニット。今福優主宰。

2003年から、ともに音を紡ぎ続けてきたからこそ生まれる息の合った演奏は、このメンバーでしかないとっても過言ではない。太鼓・神楽・唄・篠笛・踊りなど3名でもさまざまな表現で舞台を彩る。それぞれが、指導・演奏などをおこなって独自の世界を広げつつ、3名ならではの小空間での演奏、学校公演など、太鼓打ち「今福優」が最も活きる舞台を創りあげていくことを目標とする。通常のホールだけでなく、神社・寺・小ホール・公民館などでの演奏も得意とする。

<その他～取材について>

- ・取材の際には腕章をお願い致します。
- ・子ども達に舞台芸術の魅力を感じていただくことを第一義として行っております。撮影に際しては授業進行に影響しない位置で、ノーフラッシュにてお願いします。

主催：文化庁、島根県、島根県教育委員会、公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）